

平成 30 年度

第 15 回文教民生常任委員会会議録
第 9 回文教民生分科会会議録

平成 30 年 12 月 14 日

宍 粟 市 議 会

平成30年度予算決算常任委員会第15回文教民生常任委員会会議録

日 時 平成30年12月14日（金曜日）

場 所 宍粟市役所502会議室

開 会 12月14日 午後2時37分

次 第

1. 開会
2. 委員長挨拶
3. 審査・調査事項
- ◆第82回宍粟市議会定例会付託案件審査

（教育部）

第124号議案 宍粟市立小中学校空調設備整備事業請負契約の締結について

- ◆第82回宍粟市議会定例会付託案件に関する意見及び賛否確認

4. その他
 5. 閉会
-

出席委員

委員長	榎 橋 美恵子	副委員長	浅 田 雅 昭
委員	宮 元 裕 祐	委員	山 下 由 美
〃	今 井 和 夫	〃	神 吉 正 男
〃	大 畑 利 明	〃	林 克 治

出席説明員

（教育委員会）

教育部長	前 田 正 人	施設整備課長	西 林 文 隆
施設整備課主査	白 畑 英 樹		

事務局

主 幹 小 椋 沙 織

(午後 2時37分 開会)

○榎橋委員長 こんにちは。よろしくお願いいたします。

第82回宍粟市議会定例会の付託案件でございましたので、文教民生常任委員会をこれより始めていきます。

それでは、第124号議案、宍粟市立小中学校空調設備整備事業請負契約の締結についてを行いたいと思います。

それでは、部局のほうより説明をお願いします。

西林課長。

○西林施設整備課長 お手元に配付しております資料によりまして進めさせていただきます。

宍粟市立小中学校空調設備整備事業の概要です。

この事業につきましては、公募型プロポーザル方式によって提案募集を行いました。

事業方式は、空調設備設置事業に係る設計・施工一括発注方式でございます。

このプロポーザルに係る公告を10月15日に行いました。第1次審査を11月13日に資格審査を行いまして、参加資格の申請者が1者ございました。

続いて、第2次審査を12月4日に行いまして、提案内容の審査を行いまして、最優秀提案者として、この1者を決定しております。

この業者と12月10日付で仮契約を締結しました。契約金額は4億3,956万円となっております。

契約の相手方が議案書にもございます明和・協伸・加藤特定建設工事共同企業体でございます。代表者が株式会社明和工務店姫路営業所。構成員が株式会社協伸電気設備。もう一つの構成員が株式会社加藤建築事務所となっております。

工期は、平成31年6月末としております。

事業概要ですけれども、対象校・設置教室ですけれども、そこに書かれているとおり15校の合計165の教室に空調設備を設置するものでございます。

工程につきましては、本契約後2月中旬をめどに設計のほうを行っていきまして、1月末までには空調設備の機器を確定して発注するような計画としております。そして、春休みにかかる直前ぐらいから順次学校のほうに入っていきたいというふうを考えております。

なお、今回の工事につきましては、空調機の取り付けはもちろんですけれども、それに係る電気配線並びに今回空調機を設置することによって電気容量がかなり増え

ますので、その高圧充電設備、いわゆるキュービクルの増設であるとか改修、新設を行う、この費用も今回の工事に含まれているものでございます。

以上、簡単ですけども説明を終わります。

○榎橋委員長 ありがとうございます。

説明をいただきましたので、委員のほうより質問をお願いいたします。

神吉委員。

○神吉委員 公募型プロポーザル方式、これに対して参加資格申請者が1者で、最優秀提案者の決定というのは、1者であったところの1者を決定したと。こういう聞き方が正しいのかどうかかわからないんですけど、なぜ1者しか申請してこなかったんですか。もしかしたら何か難しいことがあったんじゃないかと感じるんですけど。例えば機械が手に入らないから、こういう工事はできそうにないとか、この期間ではできないと違うかとかという不安があったので、1者になっちゃったのかなという、これ私の想像なんですけど、そこを教えてください。

○榎橋委員長 西林課長。

○西林施設整備課長 今回、公募によって行っておりまして、10月15日に公募したんですけども、なぜ1者しかなかったか、それはちょっとわかりませんが、機械の入手につきましては、全国的に文科省がこういった補助事業をする中で、今から補正予算、12月に補正予算を置くところがほとんどの自治体ではそうなんですけども、うちの場合9月で早く置いていただいたので、早く執行できるということで、機械の調達は十分この時期であれば間に合うというふうに考えておりますので、そこは問題ないと考えています。

○榎橋委員長 今井委員。

○今井委員 業者としては思い当たるような業者は幾つかあるわけですか。

○榎橋委員長 西林課長。

○西林施設整備課長 公告の段階で対象業者の数は調べておりますので、その数を報告させていただきます。代表企業の資格要件を有する企業が市外が29者、市内が1者ございました。

あと構成員として参加資格を有する企業が市外が管、管というのは空調設備の取り付けの工事をするのが業種の種別で管と言います。配管の管です。管が90者、電気が80者ございました。あと市内につきましては、構成員となる資格を有する業者が管は26者、電気が9者ございました。

あと今回設計事務所をJVの構成員として参加資格要件を求めておりましたので、

設計の資格を有する業者が61者、工事監理の資格を要する業者が59者ございました。
この中で共同企業体を組んで応募いただくというのが今回の条件でございました。
以上です。

○榎橋委員長 宮元委員。

○宮元委員 ちょっとわからないんで教えていただきたいんですけど、競争入札いうのと、このプロポーザルというこの使い分けっていうか、選定方法ですかね、募集方法というのはどういった基準というか、になっているんでしょうか。

○榎橋委員長 西林課長。

○西林施設整備課長 通常の工事であれば、まず設計に取りかかって、設計ができた段階で設計書をもとに工事を発注するのが、いわゆる入札の方式です。

今回は、期間をなるべく短縮したいということと、来年の夏までにはどうしてもエアコンの稼働をさせたいという思いから、設計と施工を一括で発注する今回のプロポーザルの方式として提案させていただいたもので、通常的设计をしておれば、まだ設計が今からでき上がって、今から工事を発注するような段取りになりますので、恐らく来年6月末までには間に合わないだろうということで、今回はプロポーザルの方式で事業を執行することとしました。

○榎橋委員長 宮元委員。

○宮元委員 それじゃあ、やっぱり来年の夏に向けての工事完了を一番最初に考えたときに、このプロポーザルという方式になったということでもよろしいでしょうか。

○榎橋委員長 西林課長。

○西林施設整備課長 はい、そのとおりでございます。

○榎橋委員長 今井委員。

○今井委員 もう一回聞きますけども、何で例えば代表者としての資格が市外も含めて30者ぐらいある中で、これ1者しか提案がなかったんでしょうか。思い当たるところはないですか。

○榎橋委員長 西林課長。

○西林施設整備課長 先ほども申しあげましたが、ちょっとそこはもう少し応募があるものと期待しておったんですが、今回結果として1者しかなかったということでございますので、私どももその辺の理由はちょっとわかりかねます。

○榎橋委員長 大畑委員。

○大畑委員 事前の問い合わせなんかはなかったですか。

○榎橋委員長 西林課長。

- 西林施設整備課長 メーカーからはどうされますかといろいろな照会はあったんですけども、業者からは直接はなかったです。
- 榎橋委員長 大畑委員。
- 大畑委員 設計、施工の一括発注方式自体の難しさとか、ジョイントの難しさとか、いろいろあったのかなというふうに思ってしまうんですけども、でも、市内にも建築設計の方がいらっしゃるし、やろうと思えば組めるので、プロポーザルはおもしろい取り組みではあるんですけども、結局1者しかないのも、本当にこれで適正な価格で落ちたのかどうかということが非常に疑問に残るんですね。切り離してすることで、もう少し安価でできたんじゃないかなというふうに思ったりもするんですけど、その辺についてはいかがですか。
- 榎橋委員長 西林課長。
- 西林施設整備課長 先ほど申し上げましたとおり、設計をして入札で通常の工事のとおり発注しておれば、もしかしたら安くなっていたかもしれませんが、そこは期間を優先したということで、今回この方式を採用しましたので、結果は比べようがないというのが今のところですよ。
- 榎橋委員長 大畑委員。
- 大畑委員 それと、今回、この対象に幼稚園が入っていないんですけども、それはどういうことなんでしょうか。
- 榎橋委員長 西林課長。
- 西林施設整備課長 幼稚園につきましては、設備容量が低いので直営で設計の仕様書がつくれますので、器具の改修もございませんので、それは今から仕様書をつくって発注するというので、別にさせていただいております。
- 榎橋委員長 大畑委員。
- 大畑委員 続けてで申しわけございませんが、ちょっと素人が単純にこの契約金額を教室数で割ってしまうと非常に高いんですね。我々もどう市民に説明するのかということで非常に難しいなあというふうに思うんですが、今日、提案価格内訳書ということで、少し出していただいておりますが、それを素人の私たちにわかるような説明をいただけませんか。
- 榎橋委員長 西林課長。
- 西林施設整備課長 大きく今回の費用に含まれるのが設計と施工と工事監理でございます。その内訳が各校ごとにこのような内訳となっております。その他経費というのは、いわゆる工事における諸経費と思っていただいたら結構かと思っております。

施工の中には先ほど申し上げました空調機の取り付けであるとか、その空調機を接続するための電気設備工事と、あと高圧充電、いわゆるキュービクルを新設・増設・改修のその費用が含まれているものでございます。

○榎橋委員長 大畑委員。

○大畑委員 例えば施工業務費で山崎西中の3,500万円を何ぼで割るんや、12で割ったら、何ぼになるんですかね。

○今井委員 292万5,000円。

○大畑委員 そうですね。だから1教室に290万円から300万円かかるというところの意味がわからないので、その辺ちょっと説明してほしい。

○榎橋委員長 西林課長。

○西林施設整備課長 先ほど申しましたように、空調機の取り付けだけではなくて、電気工事、あとキュービクル、高圧充電設備の新設・改修等の工事が入っておりまして、比率でいいますと、空調管と電気の割合でいいますと、ほぼ半分ぐらいの割合となっておりますので、いわゆる空調機の取り付けはこれの約半分ぐらいだと思っていただいたら結構かと思えます。残りの半分が電気の配線であるとか、言われたキュービクルの費用とっていただいたらいいのかなと思うんですけども、その費用がかさむということです。

○榎橋委員長 大畑委員。

○大畑委員 1教室に今回空調をどの程度入れる設計になっておるんですか。何台ほど入れるということですか。

○榎橋委員長 西林課長。

○西林施設整備課長 普通教室は約60平米ございますが、今回の提案では2台ということで提案はいただいたんですけども、その後交渉によって、実は値切り交渉をしております、その中で1台から2台ということで、教室の広さによって若干変わってくるんですが、その程度とっていただいたら結構です。

○榎橋委員長 大畑委員。

○大畑委員 では、施工業務費の半分ぐらいとしても、100万円ぐらいですよ。1教室、1台で100万円ぐらいかかるということですか。

○榎橋委員長 西林課長。

○西林施設整備課長 概ねその程度かと思えます。通常の工事で発注しても1教室100万円強ぐらいかかりますので、今回それに電気設備の改修が大きく加わってくるといって費用がかさむということです。

○榎橋委員長 大畑委員。

○大畑委員 そこがよくわからない。費用はかかるんですけど、通常の家電と比較してしまうんでね、全然比較の対象が違うんかもわからんけど、業務用ぐらいのやつだとしても、100万円もいかんのと違うかなと思うたりするんやけど、その意味がちょっとわからない。

○榎橋委員長 西林課長。

○西林施設整備課長 家庭用は容量が全然比較にならないぐらい低いもので、汎用品なんで、それに近いもので安いかと思いますが、今回は業務用ということもあって、私の感想としてはそんなにむちゃくちゃ高いものではないと判断しております。

○榎橋委員長 大畑委員。

○大畑委員 そしたら、耐用年数としたらどのぐらいもつものを入れられるんでしょうか。

○榎橋委員長 西林課長。

○西林施設整備課長 もう一般的な話でしかないんですけども、機械設備の耐用年数は概ね20年程度と考えております。

○榎橋委員長 神吉委員。

○神吉委員 これもまたベーシックなとこなんですけど、施工の業務費の中に本体の機械代とキュービクルとおっしゃったというものを使うんやって。その半分を占めているキュービクル、これの意味をちょっと教えてください。

○榎橋委員長 西林課長。

○西林施設整備課長 高圧充電設備と申しまして、よく工場なんかで2メートル角ぐらいのこんな金属の箱が外に設置されているのを御存じでしょうか。要はあの中に6,600ボルトで関西電力から受けた電気を低圧に変圧する変圧器が入っているんですね。その設備のことなんですけども、それが非常に高いということなんです。

○榎橋委員長 今井委員。

○今井委員 それは1校に1台。

○榎橋委員長 西林課長。

○西林施設整備課長 現在設置されている学校もありますが、ない学校もありますので、ない学校については当然新設となります。現在設置されている学校も容量が増えますので、そのトランス、変圧器を替えたりとか、その費用は今回の費用に含まれているということです。

○榎橋委員長 神吉委員。

- 神吉委員 今聞かれたのは、1部屋に1台なんですかっていうことです。
- 榎橋委員長 西林課長。
- 西林施設整備課長 一つの施設に対して一つです。
- 榎橋委員長 宮元委員。
- 宮元委員 これ設置対象室というのが普通学級、これ多分各学年であったり、学級が1クラスあったりすると思うんですけども、たしか私、小学校なんかでオープンスクール行ったら、なんか同じ学年でも、例えば6年生でも、2クラス使ったりしているような授業もあったかなと思うんですけども、やはりこれ1学級いうか、1クラスという考え方になっているんでしょうか。

○榎橋委員長 西林課長。

- 西林施設整備課長 どこで線を引くかというところなんですけど、ようけ付ければ、ようけお金が要るといことなんで、今回は学級が設置されている教室、ハーフ学級は今回含まないと。あと特別支援学級が設置されている教室と、予算のときにも申し上げましたが、特別教室のうちの図書と理科と音楽、この三つについて、ついてないところに設置するという考え方で整理をさせていただいています。

ただ、今後3年間、学級の変動がありますので、その分を見越した分として若干予算的にも教室の数は増えておりますが、その分を設置することとしております。

○榎橋委員長 山下委員。

- 山下委員 学校に整備されるこの空調機器というのは、どのような機能、どの程度の機能を持っている機器であるのかということを知りたいのが一つと、それから、この工程で、3月の最初から順次現地での工事が始まると思うんですけども、子どもたちの学習環境に支障あるいは危険というようなところはないのかどうかいうのをお尋ねします。

○榎橋委員長 西林課長。

- 西林施設整備課長 機能につきましては、冷房と暖房、一般的なものと、あと、今回の提案では、職員室付近で一括して入り、切り、集中管理ができるようなことも提案させていただいておりますので、そこらの機能がございます。

あと、工事につきましては、学校の中では空き教室のある学校とない学校がございまして、ない学校につきましては、春休みに集中的にまず機器の取り付けを行っていただいて、教室の余裕のある学校につきましては、施工のときだけ、施工が恐らく2時間から半日程度、1教室かかるんですけども、その時間だけほかの教室に移っていただいてということをお進めしながら施工を行っていただくので、今回授

業に支障のないようにしたいというふうに考えております。

○榎橋委員長 今井委員。

○今井委員 冬の暖房もこれになるんですか。

○榎橋委員長 西林課長。

○西林施設整備課長 暖房機能はあるんですけども、そこは悩ましいところで、このエアコン、暖房を使うと電気代が特にかさむので、今後どのような電気代の推移があるのかの判断も含めて、ストーブとの併用も考えていかなければいけないのかなとは考えております。

○榎橋委員長 今井委員。

○今井委員 それから、誠に初歩的な質問ですが、どういう形のものがつくんですか。ようあるでしょう、普通のクーラーやったら外側に室外機があつてというような、ああいうので教室のところにそういうのがあるとか、そういうのがつくんですか。そうじゃないんですか。

○榎橋委員長 西林課長。

○西林施設整備課長 形態としましては室外機と室内機がございまして、室外機は学校であれば多くがバルコニーであるとか、あとは1階の部分だったら外側のテラス部分に設置されることになると思います。室内機につきましては、天井をめくると、これまた大ごとなので、今回は天井から吊り下げ型といたしまして、露出型のものを設置する予定でございまして。

○榎橋委員長 今井委員。

○今井委員 天井につくんですか。

それから、ちょっと値切って2台を1台とか2台にしたんやということですけども、それはそれで効き目としてはいけるんですか。

○榎橋委員長 西林課長。

○西林施設整備課長 要は部屋に対しての能力の話なんで、トータルで何キロワットあればええかという、その容量の計算の話なので、1台になれば2台分の容量のものを入れるということで、能率的なものではないと考えております。

○榎橋委員長 神吉委員。

○神吉委員 付けてもらった後の話になるんですけど、今スイッチは職員室で集中的にしておっしゃられていたような気がするんですけど、部屋ごとで暑い寒いを決めてスイッチを入れるものじゃないんですか。

それと、あと何度だったらつけましようとか、何度だったらつけませんというの

は、学校、学校で決めていくんでしょうか。

○榎橋委員長 西林課長。

○西林施設整備課長 スイッチにつきましては各教室でも入り切りはできます。温度設定もできますが、つけっ放しになるのが一番困るので、職員室で一括でオフできるというようなシステムでございます。

それと、あと温度設定の話がございましたが、これは一定の基準を教育委員会が示すべきと考えております。ちなみに、学校の環境衛生基準でいいますと、夏であれば室温が28度以下ということが一定の指針がありますので、概ねそれを目安につけたり、消したりということを学校には指導していきたいと考えております。

○榎橋委員長 神吉委員。

○神吉委員 ついでに聞かせてください。気温ではなくて、湿度のほうはあるんですか。

○榎橋委員長 西林課長。

○西林施設整備課長 今回の提案ではメーカーはダイキン製のエアコンを入れるというふうに聞いております。一応湿度調整もある程度はできるというふうに聞いております。

○榎橋委員長 神吉委員。

○神吉委員 ある程度がちょっと怖いんやけども。ダイキンので一度失敗した記憶があるので、湿度設定ができる。本当にできるのかどうかというのがものすごく心配です。というのも、暑さは気温ではないというふうに僕は感じていて、湿度が一番大事だと思うんです。子どもたちも27度でも26度でも別に湿気さえなかったら、涼しいと感じてくれるかもしれない。その湿度設定が絶対にできるやつにしてくださいね。

○榎橋委員長 西林課長。

○西林施設整備課長 今回の提案では、ダイキン製の仕様書の中でも求めておったですけれども、一番トップグレードといいまして、一番機能の高いものをということで選定いただいております。湿度設定は空調なのである程度限度はあるかと思うんですけれども、そこらは最新のものと考えております。

○榎橋委員長 林委員。

○林委員 このプロポーザルの募集要項、これにまだ仕様書がついとんかいな。

○榎橋委員長 西林課長。

○西林施設整備課長 皆さんのお手元にお持ちでしたら、ちょっと見ていただきたい

んですけども、このプロポーザルの募集要項の3ページ、第1の募集要項の定義というところに書いてありますが、上から5行目の別添の資料のいうところで、要求水準書というのと、最優秀提案者決定基準というのと様式集と、あとこれに公告書と、この募集要項と合わせて五つのものがセットして今回公告をしております。

○榎橋委員長 林委員。

○林委員 いや、それがいいんでわからんやけど、空調設備いうたってね、提案型やさかいにいろいろな提案が出てくると思うんやけどね、最低限の保証いうか、温度がどれだけまでの能力を持った空調機器でないとあかんとかいうこともあると思うんやけど、そこらはもう空調設備ということで業者はわかるわけなんですか、それで改めて書いてないわけ。こういう空調設備の整備事業をしますよと、提案してくださいという話で自由に出てくるわけなんやけども、最低限の品質保証とかが必要だと思うんやけどね。

○榎橋委員長 西林課長。

○西林施設整備課長 ここには出てないですが、これと別冊の要求水準書というものに目標とする設定温度であるとか湿度であるとかいうことを基準を定めて、それをクリアするような提案とするようにということで今回提案をいただいております。

○榎橋委員長 林委員。

○林委員 そういうことで今回提案された機器と、それから施工方法、いろいろあるんやけどね、そういうのが求めておるやつに合致しとるということで、1者だけやけども、この者を決定しようということになったんやと思うけどね。

それで、3ページの6番に提案条件が書いてあるわね。それであらかじめ設計された上で上限額が設定されとると思うんやけどもね、せやさかいに、仕様書の中にある程度は書いてあったんやね。それがいいで、ちょっとわからなんだんやけども。

○榎橋委員長 西林課長。

○西林施設整備課長 要求水準書の中に詳しいことの設定は当然書いております。

○榎橋委員長 大畑委員。

○大畑委員 学校の空き教室で学童をやっておられるところがありますよね。そういう部屋は対象になってないんですか。もうついてますか。失礼しました。

○榎橋委員長 今井委員。

○今井委員 あと今までに説明あったのかもしれへんのですけども、これの財源の内訳について。

○榎橋委員長 前田部長。

○前田教育委員会教育部長 前回の5日の文教民生分科会の当日配付の追加資料のところでつけさせていただいたやつで、一覧表。

○今井委員 もういいです。

○前田教育委員会教育部長 いいですか。こういう表のやつを出させていただいてます。

○榎橋委員長 大畑委員。

○大畑委員 この企業体ですけども、施工やね、設計は別として、施工は明和工務店と、それから協伸とこの二つで施工してってんやね。その十分な体制はあるんですかね、これだけの教室をやって、工事の遅れとか、そういう心配はないんですかね。

○榎橋委員長 西林課長。

○西林施設整備課長 実績でもそこらも確認してまして、明和工務店は非常に大きな会社でございまして、新明和って御存じでしょうか。そのこのグループ企業でそこから独立してゼネコンを立ち上げた企業でございまして、かなり大きな会社で、そこらは間違いないと考えております。

○榎橋委員長 よろしいですか。

(「なし」の声あり)

○榎橋委員長 ありがとうございます。たくさん御意見いただきましてありがとうございました。お疲れさまでした。

第124号議案、宍粟市立小中学校空調設備整備事業請負契約の締結について、自由討議はありますか。

(「なし」の声あり)

○榎橋委員長 討論。

(「なし」の声あり)

○榎橋委員長 ないですね、はい。

それでは、採決を行います。

賛成の委員の方。

(挙 手 全 員)

○榎橋委員長 全会一致。ありがとうございました。

大畑委員。

○大畑委員 委員会をお願いしておいてもらいたいんだけど、空調ね、図面でもらわんとイメージ出てこない。こういうふうに設計業者も決まったわけなんで、その

辺またどこかの委員会で出してもらいたいなと思います。

○榎橋委員長 はい、わかりました。出しておきます。

それと、皆様のお手元に継続調査があるんですけども、見ていただいて、追加とか、要らないとかありましたらお願いします。

これでいいですか。御意見。

○大畑委員 一般質問を聞いていて思ったんですけども、一宮の北部の医療について、具体的な話出てたでしょう。初期医療の考え方、総合病院と地域医療の考え方なんか市長が6点ほど言われてましたけども、そういうようなことは聞いたことなかったですね。それをもう一回、きちんと説明してほしいなあと。

○榎橋委員長 具体的に。はい。じゃあ、それを。

その他。

- ・継続審査事項について
- ・健康しそう21のパブリックコメントに関する意見について
- ・文教民生常任委員会のおでかけ市議会について

○浅田副委員長 これで、第15回文教民生常任委員会及び予算決算常任委員会第9回文教民生分科会を閉会します。

(午後 3時15分 閉会)

宍粟市議会委員会条例第30条の規定により、確認しました。

宍粟市議会文教民生常任委員会 委員長 榎 橋 美恵子

平成30年度予算決算常任委員会第9回民生文教分科会会議録

日 時 平成30年12月14日（金曜日）

場 所 宍粟市役所502会議室

開 会 12月14日 午後2時00分

次 第

1. 開会

2. 委員長挨拶

3. 審査・調査事項

◆第82回宍粟市議会定例会付託案件審査

（健康福祉部）

第122号議案 平成30年度宍粟市国民健康保険診療所特別会計補正予算（第2号）

◆第82回宍粟市議会定例会付託案件に関する意見及び賛否確認

4. 閉会

出席委員

委員長	榎 橋 美恵子	副委員長	浅 田 雅 昭
委員	宮 元 裕 祐	委員	山 下 由 美
〃	今 井 和 夫	〃	神 吉 正 男
〃	大 畑 利 明	〃	林 克 治

出席説明員

（健康福祉部）

健康福祉部部長	世 良 智	健康福祉部次長	大 谷 奈雅子
千種診療所事務長	樽 本 美椎子		

事務局

主 幹 小 椋 沙 織

(午後 2時00分 開会)

○榎橋委員長 こんにちは。お疲れのところ、よろしく願いをいたします。

それでは、第82回の宍粟市議会定例会の付託案件審査をこれより行ってまいります。

文教民生の分科会の関係のほうからです。第122号議案、平成30年度宍粟市国民健康保険診療所特別会計補正予算（第2号）の関係でございます。

それでは、当局より説明をお願いいたします。

世良部長。

○世良健康福祉部長 それでは、本日お配りをしております資料に基づきまして、補正の概要の説明をさせていただきたいと思っております。

今回の補正は、空調設備の購入費204万8,000円となっております。そこに記載させていただいております補正理由でございますが、千種診療所の空調機器の老朽化によりまして、冷媒のガス漏れが発生しております。これまでガスを補充することで対応しておりましたが、2系統あります1系統、南系統におきます圧縮機3台のうち2台が故障をしておりまして、診療所の南側系の待合、点滴室、レントゲン室、胃カメラ室等のエアコンが作動をしなくなっております。今後、かぜやインフルエンザなどの流行期を迎え、患者の受診環境を早期に整えるために空調機器の早急な更新を実施したいということでございますが、この時期での補正ということで、いろいろと疑問もあるかと思っておりますが、この間、担当のほうでこの空調機器をどのように整備していくかというところを検討しておりました。配管からやり直すべきか、配管をそのまま利用して機器のみを交換するほうがいいのか、あるいは単体のエアコンにやりかえたほうがいいのかというようなことで、業者と相談をしまして、見積もり等をいただく手配をしておりましたが、そのやりとりの中で今回の12月の議案に間に合わない状況でございました。一時はこのままの状況で石油ストーブ等でしのごうかという考えもあったわけなんですけど、先ほど申し上げました、特に点滴室、レントゲン室、胃カメラ室等なかなか機密性のある部屋にストーブをたいておきますと結露をしまして機械のほうによくはない影響を与えるというようなこともわかってきましたので、やはりエアコンを早期に直すべきであるということになりまして、その時点で、じゃあ、どの方法がいいのかというようなことを検討しまして、一番廉価であります単体エアコンを8台設置することという方針を出しまして、今回追加としての補正の提案をさせていただいております。

以上でございます。

○榎橋委員長 ありがとうございます。説明をいただきました。委員のほうから質疑ございましたらお願いいたします。

神吉委員。

○神吉委員 ちょっと簡単なことを聞かせてもらいたいんですけど、ガスの補填でしのがれてたということだったんですけども、どれぐらいのガスの補填で使われたんですか。料金的なことを教えてください。

○榎橋委員長 樽本千種診療所事務長。

○樽本千種診療所事務長 ガスの補填ですが、平成28年に約10万円、平成29年に42万円、平成30年の8月に29万円の修繕をしております。

○榎橋委員長 宮元委員。

○宮元委員 それでは、老朽化ということなんですけど、設置して何年ぐらい今でたっているんでしょうか。

○榎橋委員長 樽本事務長。

○樽本千種診療所事務長 千種診療所を含めエーガイヤの建物なんですけど、平成13年に建っております。それから使っておりますので、17年経過しております。

○榎橋委員長 宮元委員。

○宮元委員 それでは、今まではこの17年使われて異常いうか、修理というのは大体このガス漏れだけだったんでしょうか。ほかにもあったんでしょうか。

○榎橋委員長 樽本事務長。

○樽本千種診療所事務長 こちらのほうでちょっと今把握している分なんですけど、平成26年以降にガス漏れが4件と、蓄熱タンクのほうに1件、あとは集中リモコンなどに1件です。

○榎橋委員長 宮元委員。

○宮元委員 この圧縮機3台のうち2台が故障して、今度は単体で8台ということなんですけど、この8台というのは、この診療所全て賄うのが8台という考え方でよろしいんでしょうか。

○榎橋委員長 樽本事務長。

○樽本千種診療所事務長 8台としているんですけど、最初の見積もりが8台であったんですけど、業者さんと話ししまして、まず点滴室、レントゲン室、カメラ室に1台ずつ、あと通路が大きいので通路というか、待合のところに2台、計5台で設置しようかということで検討しています。診療所全部ではありません。とりあえず壊れている南側だけです。

○榎橋委員長 そのほかは。

大谷次長。

○大谷健康福祉部次長 すみません、最初各部屋に1台ということで部長が説明あったように8台でございます。その後、設置しなくても大丈夫だろうという部屋を精査いたしまして、今見積もりで最終的に予算要求させていただいているのは5台となっております。

○榎橋委員長 林委員。

○林委員 この2系統で集中管理というか、エアコンをしておったのが1系統が壊れて1系統のところがこの部屋やということ。それで、圧縮機3台のうち、この壊れたほうの1系統で2台めげたんかいな。あと1台はもう一つの系統で利用しようということ。

これガス漏れいうか、それが圧縮機の調子が悪いでガス漏れしてこれだけで何10万円って直すのに入れとるわね。今度単体で入れた場合はもっと、これだけ入れたら半分ほどは今までつぎ込んだ金額で賄えるというようなことになっとなやけども、診療所としてそういう単体でやるのがええんか、当初設置しておったそういう集中的に管理するエアコン、空調のほうがええんか、どっちがええねやな、これ。

○榎橋委員長 大谷次長。

○大谷健康福祉部次長 予算的などころももちろんあるんですけども、個別に設置しましても、部屋自体が一般の公共施設のような大きな部屋ではありませんので、各部屋がとても狭い部屋ですので、単体で設置してもそれぞれ管理も可能であろうということで、先ほどありました三つの選択肢の中から個別に設置をするという選択肢をさせていただきました。

○榎橋委員長 林委員。

○林委員 そやけど、単体言うたって、家庭用のエアコンみたいなやつを入れるわけ、それとももうちょっと大きい業務用いうんかね、もうちょっと大きいやつを入れるんか。大きいのを入れたら余計部屋が狭うなれへんかと思うんやけども。どんなエアコンを入れるつもり。

○榎橋委員長 世良部長。

○世良健康福祉部長 これまで公共施設は集中エアコンという過去の流れがございましたが、近年、効率性の中で個別の流れに変わっております。これはいずれの施設もそういう導入方法になっておるように思います。

今回入れさせていただきますのもそういう考え方の中で、今、林議員のほうから

おっしゃいました家庭用というイメージはしていただいてもよろしいかと思いますが、その部屋に合った大きさの個別のものを入れるという、そういう思いでございます。

後のメンテナンスのこともありますし、やはり効率性のこと、それから電力使用料のことなども考えた上でも、やはり今個別のほうが効率がいいという、そういうふうな流れにはなっておるようでございます。

○榎橋委員長 林委員。

○林委員 この空調設備ね、17年たって壊れたという話なんやけど、もともとの耐用年数いうのは、どれぐらいあったんやね。

○榎橋委員長 大谷次長。

○大谷健康福祉部次長 大変申しわけありません。耐用年数はちょっと調べておりませんで、同じようにできました保健センターのほうも同じような故障で、これまできております。時期としましては同じようにかなり老朽化が進んでいるなという判断でこのたび予算要求をさせていただきました。

○榎橋委員長 林委員。

○林委員 耐用年数のこともあるだろうし、3年ほど前からちょっと調子悪いということもあって、それは耐用年数の関係があるんだと思うんやけどね、やっぱり一番当初設置したときには、専門的な設計業者がやっぱりそういう診療所にはこういう設備が一番ええだろうということで設置されておったわけやでね、それで耐用年数のこともあるけど、調子が悪くなるという予想はついとったはずなんや。だから、3年前から調子悪いんやったら、やっぱりそれは年数が来とうで、更新せんとあかんという計画的な管理をしておかんとあかんと思うし、今この理由でインフルエンザが流行する時期になったでやります言うたってね、今もうはや流行しとんやでね、やっぱりどういう管理をしておったのかというんかね、施設全体にも言えることやと思うんや、ただこういう空調だけやなしにね。そこらの管理がちゃんとできたらなんなん違ふんかいな。

○榎橋委員長 大谷次長。

○大谷健康福祉部次長 今委員御指摘のとおり、施設管理のところにつきまして、このたび大規模な故障を起こしてしまったということで、以前から故障が老朽化に伴って発生をしていたのは空調に限らずでございます。担当部としましても、市民協働センターの建て替え等の話が出ておりましたので、一定その協議が進む中でエーガイヤ全体の施設の大規模修繕というのを計画的に入れていかないといけないとい

うことで思っていたやさきでございまして、それが年次的な修繕を整えていく前に、このようなエアコンの故障ということになりました。それと、フロンガスが2020年から生産がされませんので、今の機器ではフロンガスの切り替えに対応できませんので、空調機器につきましても、そのこととあわせて計画的に時期を見て更新をする予定でございましたけれども、このたび全く南系統が使えないということで、大変患者の皆さんには御迷惑をかけるという状況になっております。

○榎橋委員長 林委員。

○林委員 普通の事務所とかいうんやったらね、辛抱して対応もできると思うんやけども、医療機関でそういう空調がきちっとしておらなんだら、診察にも影響することもあると思うんやね。診察の結果というか、判断をするいうかね、そういう病気の。そがいなもん血圧が高うなったり低うなったり、いろいろすると思うんやね、ちゃんと普通の状態じゃないと。そんなことにも影響してくるんでね、やっぱりふだんから何年たったらあかんようになるというようなことを見越して早目に対応しとかなんだら、今回みたいにめげてもうてからする言うたってね、これまた発注して工事して設置するのに日にちかかることやと思うんやね。だから、そこらのところの危機管理がなつとらんとと思うんやけども。せやさかいに、特に千種も波賀もそやけど、診療所の事務長さんが2年ほどでかわったりしよるで、そこの引き継ぎがきちっといっとらなんだりすることもあるんやと思うんやけどね、やっぱり部としての危機管理がもうちょっとちゃんとしてもろうとかんとあかんと思うんやね。

それできちっとした空調設備をせんと、間に合わせ的に単体の家庭用みたいなんでするんやったら、間に合わせみたいなことになってしまいうでね、ちゃんと計画的にそういう施設のやつはしてもらわんとあかんと思うで、それから、ほかの水道や下水なんかにしても、計画的にめげえでも更新していきよんやで、やっぱりそこの取り組みいうんかね、そこがちょっとええかげんなことをし過ぎじゃないかと思うで。

○榎橋委員長 世良部長。

○世良健康福祉部長 このエアコンのことにつきましては、先ほど次長のほうから申し上げましたように、今、市民協働センターとの絡みの中で、エーガイヤを今後どのようにしていくかという中で、今の段階で大きな修繕等はできるだけ避けるようにというような思いの中で、言い方悪いんですが、だましだまし使っておった、そういうところは否めません。その点につきましては今林議員の御指摘があったとおりでと思います。

ただ、フロンガスが2020年に、もうこの機械を使えなくなるというのを見る中で、平成31年度、平成32年度までにきっちりした対応はしなければならないなという中で、前倒しでこのような形になっております。

個別のエアコンにつきましては、今、間に合わせと言われたんですが、決して間に合わせではございません。先ほども申しあげましたように、こういう施設につきましては、今、集中冷暖房ではなく、個別に変わりつつある中でのこの機器の選定をしておりますということは御理解をいただきたいと思っております。

○榎橋委員長 林委員。

○林委員 拠点施設の関係で云々と言われるんやけどね、そら、保健福祉課のそこは事務所は今の市民局と一緒にこのところになるという可能性はあるけどね、診療所はあそこから動くということは想定されとらんと思うんやね。せやさかい、診療所やでね、こっち側の事務所のほうはわからんけども、そういう理由づけにはならんと思うし、今そういう個別の空調になつとると言われるんやけどね、ほんならね、ほかの管理をする上で、人が大勢おったら個別に個々の部屋にずっと常駐しとるとか、いう場合やったらええと思うけども、千種の診療所なんか人がおれへんやろ。ずっと使うとるわけやあれへんし。管理がしにくいと思うんやね。せやさかいに、集中でして、使うときだけその部屋のスイッチを入れるとかいうことで、一括管理するほうが管理はしやすいと思うんやけど、決めたことは曲げられんで、いろいろ理屈を言われるんやけどね、そう思うんや。せやさかい、きちっと計画的にやとつたら、そういうことにはならんと思うで。現実にこうなつとるで、そういう後づけで理屈を言われると思うんやけども。もうちょっとちゃんとしっかりした施設管理を日ごろからやってもらわんとということをお願いわけなんやけども。

○榎橋委員長 答弁は要らないですか。いいですね。

今井委員。

○今井委員 関連になるんですけども、風呂も今とまっていますやんか。お風呂のほうね。もう動きましたか。動きましたか、もう。ここ数日やな、ほならね。だから、いろいろと確かに拠点づくりのね、それもそら話題には出ておって、あれですけども、風呂にしたかって、ここにしたかって、あんまり関係ないと思うんで、そのあたりもうちょっときちっと。ちょっとお風呂のあの辺の話を聞いてとっても、今まで一回もそういうあれはしてないっていうようなことできとったみたいやし、だからそのあたり、もう一遍全部、エアコンだけじゃなくって、いろいろと点検をしてください。お願いします。

○榎橋委員長 世良部長。

○世良健康福祉部長 今、林議員に続きまして今井議員からもおっしゃっていただきましたとおり、本当に建築から17年たっておる中で、そのあたりのきっちりした長期的な管理と、それからメンテナンスのところは十分でなかったということは私たちも感じております。

なかなか財政の厳しい中で、担当課のほうからは予算もその都度要求したりはしておるんですけども、これはこの施設だけに限らず、市全体のそういう公共施設の管理計画というのがあるんですが、財政等を見直した中でもやはりメンテナンスへの費用、こういうものについてはまた議会のほうからもそういうようなところも御提案をいただけたらと思いますので、お願いいたします。

○榎橋委員長 神吉委員。

○神吉委員 恐らく業者の方とこの機器がええだろうと、これがよう部屋を冷やしてくれる、温めてくれるということで、どこのメーカーかわかりませんが、その機材がいいだろうというふうに決められたと思うんです。それはそれでいいんですが、フロンが今2020年に生産ですか、販売ですか、終わる、それに関してこの機械は今後使い続けられるのか、そこを確認されてますか。

○榎橋委員長 樽本事務長。

○樽本千種診療所事務長 フロンガスの件なんですけど、2019年末で生産が終わります。2020年から全廃するんですけど、ガスとしてはあるところまでは供給ができる聞いております。今使っている機器はこのフロン、今度全廃する機械を使っておりますので、圧縮機の取り替えをしたほうがいいよということで聞いておりました、来年度以降の計画をしておったところなんですけど、今回壊れてしまったということで修繕の仕方を個別の機器に替えてさせていただいています。

今度新しい機械についてなんですけど、調べておりましたら、フロンの関係で、もう既に国内のメーカーは代替フロンに対応できるものにもう移行しているということでしたので、今回使う機器については大丈夫だと思っております。

○榎橋委員長 神吉委員。

○神吉委員 わかりました。フロンの12番がだめだとか、143がだめでだけでも、代替があるから、フロンはフロンですね。それを使うから大丈夫だ、今後も大丈夫やという意味やね。わかりました。

○榎橋委員長 林委員。

○林委員 もう一つの系統はやりかえでもええんかいな。

○榎橋委員長 大谷次長。

○大谷健康福祉部次長 おっしゃられるように、先ほど一番最初に事務長が言いました最初の2回は、いわゆる平成28年の故障は北系統です。おっしゃるように残り半分、これも計画的に更新をしないとイケませんので、それは来年度以降、来年、再来年度の中で更新をしたいと思っております。

○榎橋委員長 林委員。

○林委員 それで、これいつ故障して使えんようになったんやいね。

○榎橋委員長 大谷次長。

○大谷健康福祉部次長 今回ということですよ。11月の12日であったかと思えます。

○榎橋委員長 林委員。

○林委員 これはちょっと事務的な話なんやけどね、12日にめげて、もう入れんとあかんと言うて、はや、ほんなら1カ月もたって、今出てきとるわね。せやさかいに急がんとあかんと思うんやけども、30日に定例会の初日があったんやで、30日にこれ追加で出すことはできなんだんかいな。

○榎橋委員長 大谷次長。

○大谷健康福祉部次長 おっしゃられるように、できることなら12月当初補正に間に合わせたいということで、故障が発覚して以降、業者のほうに問い合わせたりとか、もちろん原因究明等、それから改善の方法とかを至急してほしいということで対応してきたんですけれども、途中は業者の返事を待っている中で寒波が襲来も、今年は温かかったからですけれども、暖房機器を集めたりしながら、何とかこの冬乗り切ることができないかなみたいなことも考えながら、本当に時間との戦いで最終的に12月当初に間に合わずに、12月の6日、7日あたりに追加議案で上げてはどうかというような財政との協議が行われたのがそのあたりですので、なかなか私どもも当初に出したかったんですけれども、大変御迷惑をかけておりますけれども、追加という形にさせていただきました。

○榎橋委員長 林委員。

○林委員 当初の議案はもっと早うまとめられておったと思うんや、補正予算ね。その後、30日の日に初日があったんやで、そのときに出されてもよかったと思うんやね。わざわざ14日、今日まで待たいでも。はや、半月ほどたつんやでね。

それと、診療所やで緊急性があって、急を要するもんやと思うんやね。せやさかいに、最低でも3者ぐらいから見積もりとって、概算の予算でも、これはきちっと端数まで出とるで、確定した予算かなと思うんやけどね。概算の予算でも30日に上

げとったらね、もう今日ぐらいにはついとるわけなんやでね。せやさかい、そこらの危機管理がちょっとおかしいと思うで、やり方が。そういう事務的な手続ができておったはずなんや。

○榎橋委員長 世良部長。

○世良健康福祉部長 まさしく今、林議員のおっしゃられた、御指摘いただいたとおりかと思えます。今、次長のほうからも申しあげましたように、12日ごろに発覚した後、実は事務長のほうもなかなかこういう機器的なところにはなれておりませんし、また予算が非常に大きくなるので、今の時点で途中で補正でこれだけの金額をというようなところを非常に厳しいなという中で、当初既存の暖房器具で何とかしのげないかというようなことで、現場のほうで苦勞をしてきておりました。そういうようなことで相談を受ける中で、先ほど申しあげました我々もこの機器については全く素人でございますので、庁内職員の技術系の職員にも相談する中で、配管をやり直すのがいいのか、そのまま残して圧縮機を交換してするのがいいのか、今御提案させていただいている方法がいいのかというようなところで、比較する中で業者のほうに見積もりを再三お願いしておったんですが、なかなか業者のほうの見積もりが出てくるのが遅く、結局11月の月末になってしまうという中で、その上での方向を決定したために、当初の議案に間に合いませんでした。これは私どもの事務のスピード感がなかったと言われても、これは否めません。その点はおわびしたいと思えます。申しわけございません。

○榎橋委員長 林委員。

○林委員 3年前からガスのあれが調子が悪くなって、どうしようかということは考えられておったと思うんやね。このまま同じような設備で更新するのか。十分検討する余地はあったと思うんやね。それを放ったらかしとって、急になってね、ほんなら、これがめげて、はや1カ月、暖房もなしで診療所を営業してきておるわけなんだろう。ほんならストーブやったら余計あかんと思うんや。点滴室とか、患者が動き回るようなところに、床に置いておるようなことで、それこそ危機管理もなっとらんし、そこらの考え方がおかしいと思うで。やっぱりもうちょっと慎重にそういう対応をしてもらわんと、ほん、ただ事務だけしとりゃええというようなものとは違うんやさかいに。

今いろいろと言われるけどね、根本はそこや。危機管理のあれが足らんということなんやで、これは部長がこういうことやと言われるんやったらね、健康福祉部の全体の危機管理意識が私はちょっと足らんととらざるを得んようになるで、それは

あんまり言わんほうがええと思うんやけどね。せやさかいにね、もう起きてしまったことはしやあないんで、今さら言うてもあかんけども、やっぱりそういう日ごろから注意をもって事務から何から取りかかってもらうようにしてほしいと思います。これ答弁はよろしいです。

○榎橋委員長 世良部長。

○世良健康福祉部長 先ほどストーブと言いましたが、これはファンヒーター、危険性のないようにファンヒーターを使用させていただいております。

○榎橋委員長 山下委員。

○山下委員 11月12日にこういった故障が起こってから、市民とか、あるいは患者さんに対しての対応というところで、既存の暖房器具等も用いてとかとお話しされてたんですけど、その間に問題等は起こらずに済んだのかどうかということをお尋ねします。

○榎橋委員長 樽本事務長。

○樽本千種診療所事務長 問題等は起こってはおりません。既存のもともとあった診療所の暖房器具ではとても足りなかったんで、ほかの課からファンヒーターとかを借りてきて、あと電気ストーブとかを借りてきて、今対処している状況です。

○榎橋委員長 浅田委員。

○浅田委員 待合で2台ということなんやけど、大丈夫、十分、後でまたもう1台というふうなことがないように、これで予算のほうはくくってあるので仕方ないんだらうと思うんやけども、その点だけ、当初8台を予定しとったんが、最終的に5台ということになっている。それはそれで十分効力があるということなら、いいんだけども、金額的にちょっと抑えたということになって、後でやっぱり市民の方、かぜひいたり、いろんなことで病気で来られるところやから、十分対応できるようにだけしておいてほしいなということです。

○林委員 待合いうたら、廊下の奥のそこも入るで。同じ空間だからね、待合の広さだけで計算しとったらあかんで。

○榎橋委員長 樽本事務長。

○樽本千種診療所事務長 待合の件なんですけど、今計画しておるのは2カ所つけるように思っております。手前の受付のところと、あともう1台は奥のほうに。あと大きさなんですけど、とりあえずカバーできるように計算しまして、できる大きさの空調はつけるというふうに考えております。

○榎橋委員長 大畑委員。

○大畑委員 ちょっと細かいことを聞くんですけど、財源のどこなんですけどね、国保診療所の運営基金を財源にされているんですが、こういう基金なんかは備品なんかで取り崩すことは可能なかどうか、よくわからないんですけど、普通の財調なんかやったら、条例があるやないですか、取り崩しの場合のね。こういう国保診療所の場合の運営基金についてはそういう定めはないんでしょうか。

○榎橋委員長 大谷次長。

○大谷健康福祉部次長 財政とも協議した中で基金を取り崩すということを充てておりますので、診療所の基金を使うことに問題はないというふうに判断しております。

○榎橋委員長 よろしいでしょうか。

(「なし」の声あり)

○榎橋委員長 それでは、意見を頂戴いたしました。お疲れのところありがとうございます。

これで一応分科会については審査を終了したいと思います。暫時休憩します。

午後 2時35分休憩

午後 3時07分再開

○榎橋委員長 再開します。

それでは、採決を行いますけれども、最初の補正ですね、第122号議案、平成30年度宍粟市国民健康保険診療所特別会計補正予算(第2号)の関係でございます。

自由討議ありますか。

(「なし」の声あり)

○榎橋委員長 討論。

(「なし」の声あり)

○榎橋委員長 では、採決を行います。

賛成の委員の方。

(挙手全員)

○榎橋委員長 全会一致ですね。ありがとうございます。

これで第9回文教民生分科会を終わります。

(午後 3時07分 閉会)

宍粟市議会委員会条例第30条の規定により、確認しました。

宍粟市議会予算決算常任委員会文教民生分科会 委員長 榎 橋 美恵子